

～ 環境に優しい士幌町を目指して ～

8 月、士幌町環境マネジメントシステム (LAS-E) の令和 3 年度独自目標監査及び令和 4 年度独自目標設定委員会が開かれました。まずは、委員会後に外部監査員が作成した監査報告書を掲載します。

令和 4 年 9 月 3 0 日

士幌町長
高木 康弘 殿

独 自 目 標 監 査 報 告 書

主任監査員 貝守 良光
副主任監査員 東村 達夫
副主任監査員 小澤 はる奈

1. 監査日時

令和 4 年 8 月 監査員各自による書面監査

2. 監査対象

士幌町役場

3. LAS-E 監査内容

独自目標 (令和 3 年度実績) 監査

4. 監査結果

(1) 第 1 ステージ

役場庁内における取組

番号	内容		目標値	実績値	達成状況 ※
D101	温室効果ガス H29 年度比 -8.68%		3,160t-CO ₂	3,188 t-CO ₂	×
D102	電気使用量 H29 年度比 -8.68%		2,390MWh	2,280MWh	○
D103	ノーマル・デー 5 月～10 月間 1 人 6 回		100%	100%	○
D104	廃棄物排出量 H30-R2 平均値以下		10,687kg	18,909kg	×
D105	公用車使用燃料 H29 年度比 -8.68%		20,958ℓ	17,610ℓ	○
D106	水道使用量 H30-R2 平均値以下		41,921 m ³	37,211 m ³	○
D107	LAS-E 関係職員研修	全体研修	1 回	0 回	×
		実行責任・環境ネジヤ研修	1 回	1 回	○
D108	各課 LAS-E 取組内容の確認		月 1 回	月 1 回	○
D109	環境ニュース年 3 回以上発行		3 回以上	4 回	○

※達成状況 ○=達成 ×=未達成

(2) 第2ステージ

		目標値	実績値	達成状況※
D202	遊水公園清掃参加人数	50人以上	70人	○
D203	水辺イベントの開催	1回	0回	×
D204	1人1日当たりのごみ排出量 H17年度対比 40.9%減	440g	548g	×
D205	地産地消を促す場づくりの 事業開催	1回	0回	×
D206	士幌町環境マネジメントシ ステム推進本部会議	2回	2回	○
D207	環境に関する意見交換	1回	1回	○

※達成状況 ○=達成 ×=未達成

5. 所見

(1) 第1ステージ

エコアクションに関する項目は、6項目中4項目で目標を達成しました。

温室効果ガス排出量については、わずかに目標値を上回りました。特に病院や小中学校といった町民が集まる施設では、新型コロナウイルス感染症への対策として暖房使用期間中でも換気の必要があったことから、燃料使用量が増えたことが要因です。しかし全体では、わずかな超過に留まり、多くの施設では目標達成という結果になったことは、感染症対策をしながらの施設運営がうまく継続できていると評価して良いのではないのでしょうか。目標に対して超過率が高い施設については、無理のない施設運営をしていくためにも、CO₂センサーと室温計を活用して室内環境を確認するなど、無駄なく空調と換気の両立をしていただけると良いと思います。

廃棄物排出量については、これまでバイオマス原料となっていた給食センターの残渣を一般ごみとして処理するようになったことが大きく影響しています。当面は給食センター残渣とその他の施設から排出される廃棄物を分けて削減目標を設定するなど、各課・施設の目標管理がしやすくなるような現実的な対応が必要です。また、給食の残渣が減るように各学校での指導・食育を充実することも検討していただくと良いと思います。さらに、町内で稼働するバイオガスプラントにおいて資源化がなされるよう、調整を図っていただきたいと思っています。

エコアクションに関する項目では、職員向け全体研修が実施されませんでした。実行責任者・環境マネージャー研修は実施されているため、環境マネジメントシステムに関する必要な情報は各課・施設内で共有されているものと判断しますが、全体研修は環境・SDGsに関する意識高揚の良い機会になります。全体研修をシステム上「しなければならないもの」ではなく、戦略的に活用する視点を持って、積極的に代替手段を取っていただくことを望みます。

エコガバナンスについては、昨年度も計画を超える回数で環境ニュースが発行されてお

り、町民に対して積極的に情報を発信したいという姿勢が窺えます。令和 3 年度は特に脱炭素に関する話題が多く取り上げられており、令和 4 年 6 月のゼロカーボンシティ宣言に繋がる発信ができたと評価できます。

(2) 第 2 ステージ

町民参加型の事業については一部が実施できたものの、やはりコロナ禍の影響を受けて実施できなかった事業で目標未達成となっています。町民参加型の事業が多いことが士幌町の特徴ではありますが、感染症が落ち着いてからの挽回を狙うこととして、当面は目標項目を変更することも選択の一つではないかと考えます。

町民一人当たりごみ排出量については未達成が続いています。ステイホームの影響で排出量が増えている部分もあると考えられます。家庭からの排出状況について、環境審議会など関連する住民組織と協議しながら、排出削減に向けて有効な対策を検討し、環境ニュースや広報を活用して情報を届けていただきたいと思います。

(3) 今後について

前述の通り、今年 6 月にはゼロカーボンシティ宣言を表明し、士幌町として温暖化対策をより一層推進していくことを町内外に発信しました。これまで情報を発信してきた SDGs や環境マネジメントの取組と重なる部分や、拡大発展した上で繋がる要素が多くあります。ゼロカーボンシティ推進協議会での検討が進んでいく中、町民に対して随時情報を公開し、意見を求めていく双方向のやり取りが重要になっていきます。これまでの環境に関する情報発信や住民参加のあり方を再検証し、開かれた仕組みの中でゼロカーボンに向けた動きを進めていただくことを期待します。

つぎに、委員会にて設定された令和 4 年度独自目標を掲載します。

令和 4 年度 独 自 目 標

○第 1 ステージ

		目標値
D 1 0 1	温室効果ガス H29 年度比 -9.60%	3,128 t-CO2
D 1 0 2	電気使用量 H29 年度比 -9.60%	2,365 Mwh
D 1 0 3	ノーマイカーデー 5 月～10 月間 1 人 6 回	100 %
D 1 0 4	廃棄物排出量 R1-R3 平均値以下	13,155 kg
D 1 0 5	公用車使用燃料 H29 年度比 -9.60%	20,747 リットル
D 1 0 6	水道使用量 R1-R3 平均値以下	39,129 m ³
D 1 0 7	LAS-E 関係職員研修年 2 回以上	全体研修 1 回
		実行責任者・環境マネージャー研修 1 回
D 1 0 8	各課 LAS-E 取組内容の確認	月 1 回
D 1 0 9	環境ニュース年 3 回以上発行	3 回以上

○第2ステージ

D 2 0 2	遊水公園清掃参加人数 1回 50人以上
D 2 0 3	水辺イベントの開催 年1回以上
D 2 0 4	1人1日当たりの可燃・不燃ゴミ排出量 H17年度対比 42.3%減
D 2 0 5	地産地消を促す場づくりの事業開催 年1回以上
D 2 0 6	士幌町環境マネジメントシステム推進本部会議 年2回以上開催
D 2 0 7	環境に関する意見交換 年1回以上

～ご協力をお願いします～

独自目標第2ステージでは、地域全体が対象となり、町の環境政策を推し進めるため、皆様にも一層のご理解とご協力をお願いいたします。特に、D204 **町民一人当たりごみ排出量については未達成が続いています。**

ここでは、ゴミを減らすために家庭でできる工夫を7つご紹介します。

1. 食材は使い切れる分だけ購入する
2. レジ袋をもらわず、マイバックを使う
3. 使い捨ての物は使わない（紙皿や割りばし等）
4. 詰め替えのものを利用する
5. フリマサイトなどを活用する
6. ゴミの分別を徹底する
7. 生ゴミ処理機を使う

ご家庭での出来る限りのご協力をお願い致します！

※士幌町環境マネジメントシステムのホームページを公開しております
(<https://www.shihoro.jp/town/detail.php?content=193>)